

沈下修正

沈下修正工事

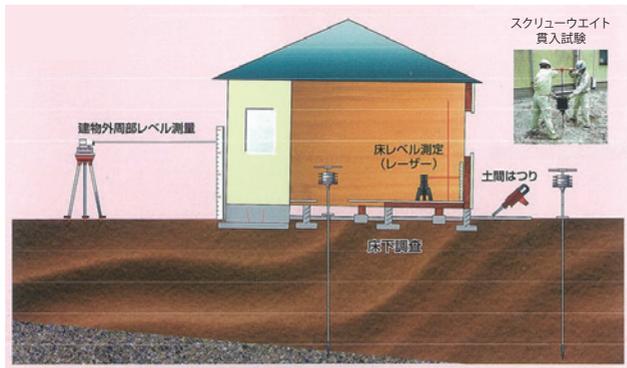
# 各種沈下修正工事

## 建物の傾きを最適な工法により修正

「地盤トータルサービス」を掲げるジオテックでは、新築時の地盤調査、地盤補強工事設計・施工のほか、建物の不同沈下修正工事も多く手掛けている。

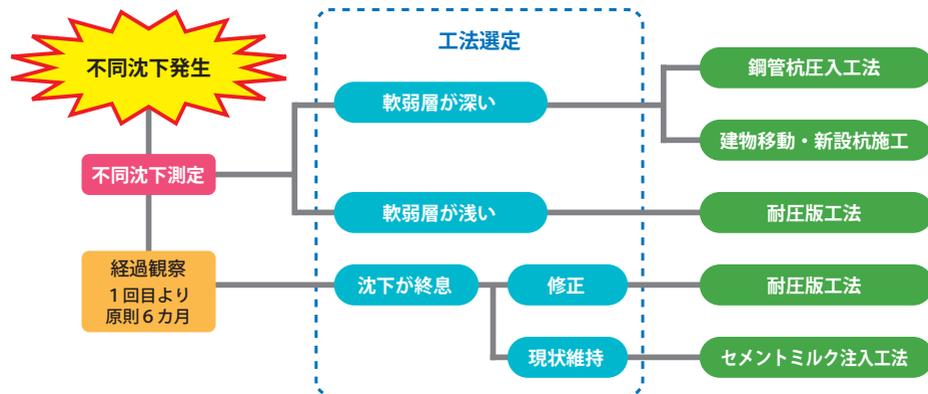
鋼管杭圧入工法、耐圧版工法、薬液（セメントミルク）注入工法など、地盤の状況や症状に応じた最適な工法を提案。直営施工班と協力会社施工班で充実した体制を構築し、全国の工事に対応する。

### ■建物レベル測定（現況把握）



工法選定の前に、建物外周部レベル、室内床レベルの測定のほか、床下調査、スクリューウエイト貫入試験を必要に応じて実施する。調査は1日で終了し、調査報告書、地盤調査報告書、測量図面にて建物の状況を把握することができる。

### ■不同沈下の発生から修正工事の流れ



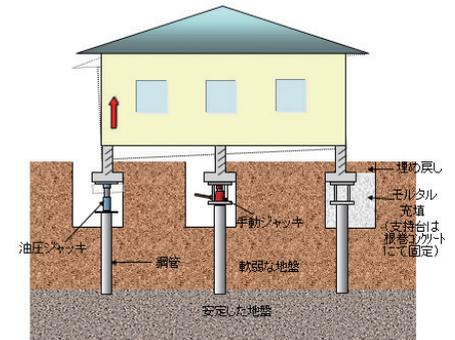
地震・沈下特集

地震・沈下特集

## ジオテックで採用される主な不同沈下修正工法

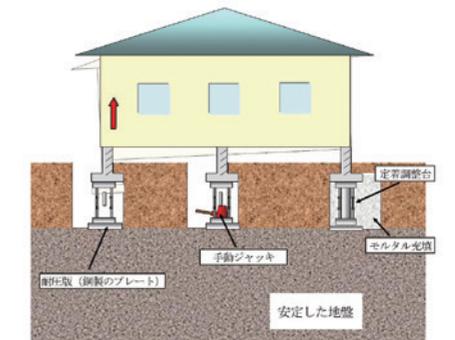
### ■鋼管杭圧入工法

建物の荷重を反力とし、ジャッキにより鋼管杭を支持地盤まで圧入し建物を修正する工法。支持層まで杭を打ち込むため、再沈下の可能性が低い。また、居住した状態でも工事ができる。



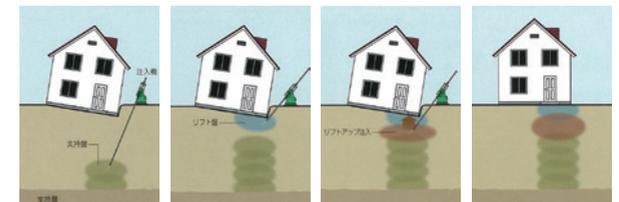
### ■耐圧版工法

安定した地盤に鉄板を設置し、地盤・鉄板を反力にして建物を修正する工法。浅い深度に安定した地盤が堆積している場合に採用する。鋼管杭圧入工法よりも安価で施工できるケースが多い。居住した状態でも工事可能。



### ■i-LIFT工法

地盤内部にグラウトを注入して、傾斜したり沈下した建物を持ち上げて元に戻すとともに地盤の支持力を高めることができる工法。グラウトは高精度なレベル計測器で常時計測しながら注入するので、レベルの微調整が可能。また、振動・騒音の発生が少なく、グラウトは環境に負荷を与えない材質のため、安全性が高い。



①支持注入 傾いたり沈下した建物を持ち上げるためのグラウト注入。支持盤を形成。

②基礎補強注入 建物の基礎補強のため、基礎下部にグラウトを注入して「リフト盤」を形成。

③リフトアップ注入 支持盤とリフトアップ盤の間に「リフトアップ注入」を行い、リフトアップ盤ごと建物を持ち上げる。

④完成 建物各部分のレベルを確認しながら微調整をして工事を完成させる。